



若さを保つとは、もちろん肉体的なこともあるのですが、精神面の保ち方が大きな比重を持っているように思われます。年は取っても鮮度を失わない心は、生き生きとしていて人間としての魅力を強く感じるものです。

ところで、私たちの日常は仏法のご縁の中で生かされているのですが、私たちはそれに気づくことは少ないようです。それは日常が「当たり前の世界」としてしか受け止められていないからでしょう。感謝の思いも、日々刻々と変化する新しい世界との出会いの中で発見できる感動が発露となって、しみじみとした感謝の思いとなっていくのでしょうか。「生きている」のか「生きていく」の違いもここにあるのでしょうか。

アジサイの植木鉢の下からダンゴムシが出てきました。明るい日差しに驚いたのか一目散に駆け出し、再び植木鉢の下に潜り込んでいきました。メダカの卵が孵って、小さな小さな命が生まれました。この「小さいのち達」も、みんな与えられたこの地球という場（環境）で、すべての生き物と共存し懸命に生きていく命なのです。意味のない命など、どこにもないと思うことです。

感謝の気持ちで「ありがとう」



Y・M

ある日、病院の待合室で診察の呼び出しを待っていました。その時40歳前後の女性が来院し受付をしていました。

やがて受け付けを済ませたその女性が立ち去ろうとした時、診察のファイルの間から番号札が落ちたように思いました。私は思わず、気づかず立ち去ろうとした女性に「番号札が落ちたみたいですよ」と声をかけました。するとその女性は私の方に目を向けることもなく、無言でもなかつたようにスートと番号札だけを捨て立ち去って行ってしまいました。

私はその時、とても心さみしい思いになってしまいました。何か特別なことをしたわけでもなかつたのですが、どうして「ありがとう」の一言が出ないのかなと思いました。隣で座っていた人も「私もそう思ったわ」と言われ、あつけにとられていました。

これは若い頃から、年を取っているからと「言う問題」ではなく、相手の好意に対しての礼儀作法だと思っています。私は決して腹を立てているわけではないのですが、現代社会のどこかひんやりとした人間関係の縮図のように思えてきて、さみしい思いにさせられています。私たちは又のふり見て我が身を直せ」といふ思いをもって生きてきましたが、現代社会では通用しなくなってきたのでしょうか。

私もまだまだこれから、多くの「おかげさま」を感じながら「感謝の気持ち」をもって生きていくことになるのですが、お互いに温か味が感じられるような社会や、人間関係を育んでいきたいものだと思います。ありがとうございます。



住職の心

ありがた〜と素直な気持ちで言い合える関係を大切にしたいですね。
 有難〜や、朝夕のあいさつは心の潤滑油だといわれていますが、あいさつひとつで相手に対する思いやイメージがずいぶん変わっていくものですよ。
 しかし、最近は様々な事件をきっかけに、人間が人間を信じられない世の中になってきてしまったことはとても悲しい現実です。しかもこれが純真な子供たちの心を傷つけはしまいか心配されるエピソード。

六月

こんなことを学びました。



今、七高僧について学んでいます。

七高僧とは、お釈迦様が説かれたお念仏のみ教えを、それぞれ書物を著して詳しくお伝えくださった印度、中国、日本の七人の高祖さまのことです。私たちが朝夕に読む『正信偈』にはそのお名前が出てまいります。

その中で6月は天親菩薩様について学びました。天親は自らの力の限界を知ること、阿弥陀仏の深い願いに出会い阿弥陀仏の浄土に生まれたいと願いました。彼は『無量寿経』の伝えようとした本当の意味に気づき、そのことを明らかにしようとして『浄土論』を著されたのです。

プリント学習でその内容を、若院がわかりやすく説明してくれました。

寺で法事

最近寺で法事を営むことが多くなってきました。

主な原因としては核家族化が進み、親の高齢化、独居といった問題が、法事の準備を含め、当日の親族等の接待にも支障をきたすというところからです。さらには子供たちが他県に居を構えてしまっていて、実家は空き家となってしまうところもある場合など様々ですが、これらも一つ一つの法事が多くなっています。

本来ならば自宅のお内仏で行うのが一番でしょうが、こうした場合にもお寺に近づいていただければ、ありがたいことだと思います。



すべてイス席で、用意ができます。



食事はここで。冷暖房が完備しています。お茶の準備は致しておきます。

紫陽花がきれいに咲きました。



今年の花は色あいても良く、たくさん
の花を咲かせてくれました。

あの5月の日照りと暑さで、紫陽花
にとっては厳しい気候でしたが、坊守
が根気と水やりをして、管理をして
くれましたので、むしろ例年よりも、

きれいに咲いてくれたようです。

群生の美しさはないのですが、一輪一輪が
珍しい花であることから、写真家の興味を引
き付けていたようです。知る人ぞ知るといっ
た隠れた名所としてこ
れから訪れる人も多く
なるのではないかと思っ
ています。



「お盆」

お盆は亡き人を偲ぶ機会です。そしてまた亡き人
を偲ぶことを通してお念仏の教えに出会い、今の自
分の本当の姿を知らしめていただくことが肝要かと
思います。

本当の自分の姿に出会うことが、己の人生を真に心豊かに過
ごすことにつながるスタートになるのではないのでしょうか。
さて今年も暑い夏になりそうです。熱中症にならないようこ
ろこ自愛いただきますように。



新聞原稿募集中

日常の身近な話題の提供をお願いします。

ご門徒相互の心の交流として、掲載されたご門徒の記事に
対する感想なども聞かせていただけたなら、さらに充実した
通信になると思っています。よろしくお願いいたします。

匿名で掲載させていただきます。

ご連絡

8月の学習会はお休みです。お茶会も基本お休
みいたしますが、法務のない時は本堂でパソコン打っているか、縁側の
雑巾がけをしています。お立ち寄りの説にはぜひのぞいてみてくださ
い。お待ちいたしております。